

訪問リハビリを利用して自宅で元気に過ごそう!

訪問リハビリ はじめませんか?

ご自宅で安心のリハビリを

サービス概要

理学療法士・作業療法士が
ご自宅へお伺いし、体を動かす練習
や日常生活のサポートを行います。
住み慣れたおうちで、安心して
リハビリを続けられるように。
ご本人もご家族も、笑顔で過ごせる
毎日をお手伝いします。

このような方に おすすめです

- 退院後もリハビリを続けたい
- 歩行や立ち座りが不安
- 転倒を予防したい
- ご家族の介助を楽にしたい

ご利用案内

- ・ 営業日：火曜日・木曜日
- ・ 訪問時間：午後1時～午後5時
- ・ 利用料金：介護保険の負担割合や時間に応じて変わります。

【対象となる方】

要介護認定を受けている方
(要介護または要支援)

【主なりハビリ内容】

- ・ 歩行・動作練習、転倒予防
- ・ 関節の可動域訓練、筋力トレーニング
- ・ 入浴・トイレ・食事など生活動作の練習
- ・ 介助方法のアドバイス

お問い合わせ

介護老人保健施設ケアステーションひかり内
訪問リハビリテーション事業所イカロス
担当者 後藤 航(わたる) 理学療法士
☎01558-6-5566

ケアステーションひかりには「訪問リハビリ」のサービスがあります。要介護認定を受けている方が対象のサービスで、ご自宅にリハビリスタッフが訪問し、歩行練習・筋力トレーニングや介助方法のアドバイスをする事も出来ます。特に「退院後の早期介入」がお勧めです。
ご自宅で安心して生活する為にも、リハビリを始めませんか。

ひかり 新開

第152号
2026/3

介護老人保健施設
ケアステーションひかり
大樹町字大樹10-8
TEL 01558-6-5566
FAX 01558-6-5567
https://koujyukai.info
E-mail:info-hikari@koujyukai.org



北海道医療大学で講話体験

当施設の訪問リハビリを担当しています。後藤 航理学療法士が北海道医療大学の理学療法学科の学生に「生活期(介護保険領域)の理学療法」「介護老人保健施設の(老健)の役割と魅力」について講話をしてきました。



【北海道医療大学】
【理学療法学科3年生】

介護分野で勤務している理学療法士は全体の2割程度と言われています。その背景には、学生時代に介護保険領域へ触れる機会が少なくという現状もあると考えます。今回は複数の施設にアンケート協力を頂き、それをもとに生活期の理学療法、特に「老健で働く魅力」を学生の皆さんへお届けしました。
訪問リハビリについては事例を通して利用者様の段階に合わせて関わり方が変化・進展していく事を共有しました。「治す」だけでなく生活を支える理学療法の大切さをお伝えしました。
今回の講話が実習に活かされ、生活期で活躍する理学療法士が一人でも増えてくれたら嬉しいです。

介護老人保健施設 事業功労者厚生労働大臣表彰伝達式

帯広保健所にて介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰伝達式が行われました。
岩倉史拓施設サービス管理課長が受賞となり、表彰を受けました。
長きにわたりケアステーションひかりに勤務し、施設の発展に貢献しました。
今後も利用者様により良い介護サービスが提供できるよう職員一丸となつて取り組んでいきます。



ケアポートげんきよりサービスのご案内

ケアポートげんきは「福祉有償運送サービス」を行っております。

福祉有償運送サービスとは、「自力でバスに乗れない」、「タクシーを呼んだり自力で乗車が困難な高齢者に移動手段を提供するサービスです。

通院や入退院、日常生活に必要な外出等を対象にしています。選挙やマイナンバーカード作成等にもご利用頂いています。

ケアポートげんきは「運転手と介助者が付く、安心・安全なサービス」を提供しています。

対象：要介護認定を受けている方で大樹町が幕別町（忠類地区）在住。

申請方法：担当の介護支援専門員を通して役場での申請が必要となります。地域で暮らし続けるための大切な移動サポートをご提供します。ぜひご検討下さい。



受診に行くのも安心!

車イスでも乗り降り楽々!

通所リハビリ活動報告

餅つき大会を開催しました。「おいしくなれ」と願いを込めて杵をつきます。その後はお雑煮作り。特に男性利用者様の包丁さばきには職員も脱帽です。皆さんがそれぞれの得意分野で活躍して下さいました。



「楽しくリハビリ」をモットーに「遊びリテーション」を毎月開催しています。今月は「ウマさんのためなら頑張れちゃう!・にんじんダービー」です。

1本10ポイントのにんじんをウマさんのために必死の収穫作業。エプロンも自分でつけるのがルールです。楽しみながら身体を動かせる笑顔いっぱい「遊びリテーション」となりました。



脳の健康教室

2月3日、節分行事を行いました。職員お手製の「鬼の器」に豆(落花生)がいくつ入るかを競うゲームを行いました。笑顔や笑い声があふれ、季節の行事を通して脳も心も体も元気になるひと時となりました。今後も、楽しみながら「脳の健康づくり」ができる教室運営をして参ります。



管理栄養士より

「十勝の恵みを味わおう」

- ・とうもろこしごはん
- ・白身魚の大豆チリコンカン
- ・甘藷芋のフォンデュソースかけ
- ・白菜の沢庵さっぱり合え
- ・生姜ときのこのスープ



チリコンカンには十勝産大豆のユキホマレを、甘藷芋は熟成させた十勝産メークインを使用しています。光寿会は食事にも力をいれています。

出前講座

2月15日(日)大樹町柏木町行政区サロンにて出前講座を行いました。柏木町サロンでは、ケアステーションひかりのリハビリ職員が以前に実演した「タオル体操」が定番の体操となっております。また柏木町では、毎月参加者の中から「体操リーダー」を決めて、取り組みをされています。町内会の中での「役割」は、とても大事なことです。

本日もタオル体操の他、音楽に合わせた体操等を実施し全身を動かすことのできた時間となりました。27名が参加されましたが柏木町サロンは他の地区に比べ男性の参加率が高いです。「楽しいから来ています」と感想も聞きました。



<柏木町の定番タオル体操>

御寄附

有難う御座いました

現金の御寄附



- 広尾町 山本 喜久男様
- えりも町 小松 順二様